

道路問題



この写真は保谷・朝霞線や放射7号線に関する質問をしている私です。小さなパネルを使って、保谷・朝霞線の必要性の低さを示しました。保谷・朝霞線に関しては、この6月議会では色々なことが明らかになりました。

- 1.現在、放射7号が北園から調布・保谷線まで物凄い勢いで建設されている。(用地買収済み。練馬区73%・西東京市96%)
- 2.埼玉県は保谷・朝霞線と放射7号の両方を同時に建設はできない。
- 3.埼玉県は住民が反対運動をしている道路は建設に着手できない。
- 4.埼玉県は住民への説明会はやらない。(やるなら市が単独でどうぞ！)→8月に市単独の説明会。
- 5.埼玉県としては27MLしか考えていない。新座市が20Mでやるというのなら、その根拠を示せ。
- 6.埼玉県は産業道路よりも先は造らない。
- 7.既に放射7号の所沢部分は完成している。

*放射7号とは北園から、所沢まで抜ける都市計画道路で、保谷・ひばりヶ丘・東久留米・清瀬・所沢と西武線に沿って走る道路です。この道路が仮に産業道路まで行ったとしても、T字路で終わることを考えると、利便性・必要性は放射7号の方がかなり高いと思われます。県の借金は3.5兆円を越えています。今、県が2本の道路を造りたくないのは当たり前です。そして、この放射7号が完成すると、都県境に来る車の数はかなり減るのではないかと予想されるのです。調布・保谷線の受け皿は放射7号で十分ではないでしょうか。国も県も市も借金だらけ。何かを止めなくてははいけないのです。

安全問題

毎朝、八石小学校の東門に立つようになって数ヶ月が経ちました。子どもたちの顔も覚え、毎朝が楽しみになってきました。そこに立つようになったのは、「東門の前の道路が見通しが悪く危険なのに、人が誰も立っていない。何とかありませんか。」と、あるお母さんから言われたからです。実際に立ってみると、かなりのスピードで車は通ります。道路を横断する通学班は3つ。横断歩道もなければ、交通指導員もいないので、全て先頭の班長の判断に任されていることが分かりました。集団登校の危険なところは、下級生は上級生に判断を任せ、下を向いたままついて行ってしまふところ。列の長い班ほど危険です。4月から1年生の息子の集団登校を見守ってきて何度か「危ない！」と、思うことがありました。実際に新座小学校の悲劇の直ぐ後に、同じようなことが起きています。ギリギリのところ助かったのですが、やはり普段交通指導員さんがいる交差点での出来事でした。(その日はお休みだったので。)交通指導員さんがお休みのときの対応も含め、もう一度子どもたちの安全について、考えてみるべきだ！と、議会でも質問しました。



写真は通学路の歩道を完全に覆うように置かれたトラックです。先頭の班長が道路にはみ出せば、残りの子達はみんな県道の車道にはみ出て歩いてしまいます。この時は、僕と校長先生でトラックの後ろに回るように誘導し、運転手にも「このような駐車の仕事は危険で困る」と言いました。その後、この会社に強く要望したところ、子どもたちに安全な形での荷物の積み下ろしになりました。